



R8. 7. 1

葉鹿小学校校長 橋本 和美

葉鹿小ブログ 随時更新中!! →

<http://hajika.meetblog.jp>



「まちガエル」と「ふいかエル」 そして「かんガエル」

ある日の算数の授業です。図形の角度を求める問題に「このやり方、なんか変じゃない?」と間違いに気付く、「どうしてこうなるのかな?」と悩みながらも友達と一緒に答えを出そうとする子どもたちの姿がありました。また、「こんなやり方もあるんじゃない?」と自分の考えを伝えたり、「わからないから一緒にやってくれる?」とみんなで解決したりもしていました。葉鹿小には、失敗を恐れず何度でもチャレンジする子どもたちがいます。それは、みんなで賢くなれるチャンスがたくさんあることだと思っています。

いよいよ7月、もうすぐ夏休みです。「どうしてだろう」「なぜだろう」「本当かな」と、みんなで考える瞬間を大切にしていきたいと思います。3匹のカエルは、子どもたちが悩んだり困ったりしたときに、きっと大活躍してくれるはずです。これからもたくさんのことに興味をもって、「考えることの楽しさや大切さ」を学んでいけるよう、先生方にも「失敗することの大切さ」を伝えていきます。



学校公開・学校評議員会

6月24・25日の学校公開では、たくさんの方に子どもたちの学習の様子をご覧いただき、ありがとうございました。この2日間には、外部の講師による学習会も多く学年で行われました。

食育指導として、1年生は「すききらいなくたべよう」、思春期講座として2年生は「命の大切さを知ろう」という内容で学習しました。

また、1年生の学年部行事として、親子給食を行い、昼休みには親学習プログラムとして、足利市生涯学習課の方の進行で、保護者の方々が和気あいあいとした雰囲気の中で楽しく話し合いをしました。笑い声も聞かれ、保護者同士の横のつながりをつくるきっかけにもなったようです。



また、24日は第1回学校評議員会が行われました。本校の学校教育目標や学校経営方針等をお伝えし、全学年の授業参観をしていただきました。評議員の皆さんからは「子どもたちが楽しみながら学習している」「考えを深め合ったり伝え合ったりしているのがよい」とお褒めの言葉をいただきました。タブレットを上手に使いこなす子どもたちに、評議員さんからは感嘆の声も上がっていました。これからも主体的に活動する子、大きな声であいさつする子を目指し、教育活動の充実を図っていききたいと思います。

楽しく学ぶ 遠足 Part 2



お待たせしました。3年生、4年生の遠足と、6年生の「足利探検」の紹介です。

- 3年生** 6/11に宇都宮の「コジマ子どもサイエンスパーク」へ行きました。宇都宮市のクマ出没騒ぎがあったためかお客さんがとても少なく、暗闇の部屋や斜めの部屋、その他の実験も待つことなく行うことができました。プラネタリウムでは星座の話を聞き、どっぷり科学の世界に浸ることができました。



- 4年生** 6/16に遠足で益子町と栃木県庁へ行きました。益子町では益子焼の窯元へ行き、登り窯を見学したり、益子焼のお皿へ絵付け体験をしたりしました。県庁へ着くとまず15階の展望室へ行き、みんなでお弁当を食べました。展望室からは遠くの山々が見渡せ、栃木県の広さを感じました。その後は会議場を見学し、県庁の仕事についても学ぶことができました。



- 6年生** 6/9に総合学習で「足利探検」を行いました。学校から小俣駅まで歩き、電車に乗って足利駅まで行きました。駅に着いたら班別行動です。それぞれの班で計画した行程どおり、足利学校や鑊阿寺、織姫神社、バスに乗って北郷の吉祥寺や山辺の八幡宮まで見学に行くなど、足利の歴史や文化に触れることができました。



栃木県と葉鹿小は同い年 今年153歳！

明治6年6月15日に栃木県が誕生し、同じ年の6月22日には葉鹿小学校が誕生しました。今年の創立記念講話集会では、評議員のお二人から直接「葉鹿小の昔」のお話を伺いました。

昭和30年ごろ葉鹿小へ通っていた亀田さんは、「昔の葉鹿小は、机も椅子も廊下も窓の枠も校舎もすべてが木でできていたよ。講堂という体育館のような場所の入り口には、1年生の昇降口にある「大時計」が着いていて動いていたよ。校庭は今より少し狭くて、イチョウや松の木までが校庭だったね。」とお話くださいました。

また、昭和55年ごろ葉鹿小の先生だった前川さんからは、「児童は今の2倍以上の700人くらいだったので、教室は子どもたちでぎゅぎゅうでした。児童の森を先生方で作って、実のなる木を植えたり池を作ったり、とても楽しかったのを覚えています。」とお話してくださいました。

153年の歴史がある葉鹿小学校の校歌は、できてから今年で93年目になります。作詞は小林政一先生、作曲は下總皖一先生。作曲家の下總先生は「たなばたさま」「ゆうやけこやけ」など、多くの人が知っている曲を作った方だとわかったと、どの子も誇らしそうでした。

集会の終わりには、わたしたちの校歌がこれからも歌い継がれ、未来につながっていくようお願いを含め、全員で元気に校歌を歌いました。

153歳おめでとう！これからもみんなの心に残り続ける、素敵な学校でありますように。